

2011.11.07

### 研究会員の声 3

これらは責任のとれない立場からの生の声を記録したものですので、誤解などあるかも知れません。それを承知でお読みください。

○ 計画破産処理中のNBL社から事前に抜き取った金品で新設した日立造船コンポジットは、予想通り、米国資金を使った香港ファンドへ売却がほぼ決まっていたことが分かった。しかしながら、本公開質問状を知るところとなり、米国筋は手を引いたということである。米国では地中深くのシェールガス用として、耐食性、強度の点からFRP管が注目を浴びている。そのため、香港ファンドの関連筋が今度はDr. Nishinoにアプローチしてきて状況が明らかとなった。世の中には無知なファンドもあり、水金属反応を見て水を燃やすことができる信じたり、水で走る車とかの素人だましのインチキ事業に出資する人もいる。そこまでは行かなくても、今となっては素人ファンドしか相手をしてくれなくなってきたことであろう。

○ HZの泥棒体質・独り占め体質が売り上げ年間1兆円クラスの金の卵を鉄くずにしてしまった。Dr. Nishinoにしてみても、国益を願って事業化をHZに期待したのであるが、とんでもないヤクザだったわけである。

○ 元エヌビイエル(株)従業員Lの声： 私はエヌビイエルの中国の子会社で経理部門を担当していました。エヌビイエルの社員さんと同じように会社が苦しい時、給料もらうのを辛抱しました。途中で日立造船からN科さんが来て、社長になりました。そしたら、中国の会社は別会社だから給料の未払いは払えないと言いました。別の時、給料をくれるように頼みに行きました。その時、N科社長は中国の会社の決算を処理したらその費用を払うのと給料のこと考えるとと言いましたが給料も、決算費用もまだ払ってくれません。

○ 偽装倒産の疑いがあるよ。

#### 1、負債総額

確か総額負債は、銀行が4.5億円、株主が約1億円（元の株主と日立造船）の合計5.5億円。

#### 2、資産総額

設備が約1億円、不動産約2億円（これらを圧縮しているはず）

製品製造・販売実績技術（時価2～5億円の価値）、現在売却可能な金額。

資本金は、旧8400万円に約8000万円、計約1.6億円

（海外S社に売却などの場合）

合計、4.8億円+2～5億円=約8億円以上

### 3、発表負債

8億円。

どのように評価してもあわない。

会計上なら、1.6億円+3億円-5.5億円=0.4億円のはず。

なぜ、8億円になったのか？

7.6億円の負債を日立造船の経営でつくり、偽装倒産と疑いを持つ。

### 4、偽装倒産利益の計算（疑い）

まず、ノウハウなどをゼロ評価していることは事実。この利益は少なくとも2~5億円。

0.4億円負債を8億円にしたので、自社株式も含んで8億円と解釈すると、

利益金から8億円の半分の4億円を節税？

さらに、7.4億円のおそらく赤字を作る何か、社内負債を加算させているので、おそらく、ノウハウ・実績の技術費用を別にしても、4~10億円の実質利益計算ができる処理を行ったと見受ける。

すなわち、少なくとも、約10億円以上の利益処理。

### 5、元の株主

約1.6億円の評価額と手形未解決など7000万円で合計2.3億円。

裁判で6000万円取り戻したとしても、約1.6億円の損。簿価でも約8000万円。

さらに、多くの苦勞させられた損金評価は非常に大きい。おそらく3億円程度（理由はその後1~2年間で取り戻している価値）。

後記：編集子の一人もLさんと同じく未払い海外出張費をもっている。当初の話と異なり、「アカンペー」のされ通しで、HZは徹底的に締め上げる。これはヤクザそのものであり、それを業としているのがHZの素顔である。